

# 「落花生」生育情報（第2報）

～ 基本技術を励行して収量増加！ ～

平成30年8月21日

千葉県農林水産部

生産振興課

※本資料は、落花生生産者へ落花生の生育を情報提供するものです。調査時点での生育状況をまとめたものであり、本年の収量を保証するものではありません。

## 1 生育状況

7月から8月上旬にかけて、気温は平年よりも高く、日照量も多くなりました。ただし、降水量は、地域によって差がみられました。

調査ほでは、地域や品種によってばらつきがありますが、8月9日までの生育は概ね順調に推移しています。

表1 作況調査成績（8月9日調査）※対比は平年比

品種名	年次	地上部 生体重 (g/m <sup>2</sup> )	地上部 乾物重 (g/m <sup>2</sup> )	さや数 (個/m <sup>2</sup> )	生さや重 (g/m <sup>2</sup> )	さや 乾物重 (g/m <sup>2</sup> )	最長 分枝長 (cm)
千葉半立 〔調査区の平均 は種日6月1日〕	本年	3,506	509	91	292	40	51
	平年	2,383	438	90	274	34	39
	対比	147%	116%	101%	107%	117%	130%
ナカテユタカ 〔調査区の平均 は種日5月20日〕	本年	3,297	560	207	840	139	54
	平年	2,279	463	179	645	122	38
	対比	145%	121%	115%	130%	114%	144%
おおまさり 〔調査区の平均 は種日6月1日〕	本年	2,574	378	69	244	33	61
	平年	2,063	389	70	285	42	53
	対比	125%	97%	99%	86%	78%	116%
千葉P114号 〔調査区の平均 は種日5月29日〕	本年	2,644	452	175	634	94	50

\* 本年値は、各調査地点の平均値。「千葉半立」は千葉・印旛・香取地区、「ナカテユタカ」は千葉・海匝・君津地区、「おおまさり」は千葉・印旛・君津地区、「千葉P114号」は千葉・印旛・香取・長生地区。

\* 平年値は、平成23年から29年（過去7年間）の調査データから最大・最小を除く平均。

\* 対比はラウンド処理をしているため、小数点以下が合わない場合がある。

表2（参考）落花生研究室（八街市）の作況（本年の値、8月9日調査）

は種日	品種名	地上部 生体重 (g/m <sup>2</sup> )	地上部 乾物重 (g/m <sup>2</sup> )	さや数 (個/m <sup>2</sup> )	生さや重 (g/m <sup>2</sup> )	さや 乾物重 (g/m <sup>2</sup> )	最長 分枝長 (cm)
5月18日 (標播)	千葉半立	2,678 (106%)	556 (117%)	163 (82%)	654 (117%)	103 (111%)	44 (135%)
	ナカテユタカ	1,607 (75%)	374 (89%)	213 (81%)	688 (80%)	137 (84%)	35 (99%)
	おおまさり	2,072 (114%)	440 (110%)	96 (57%)	490 (67%)	67 (66%)	59 (111%)
	千葉P114号	2,318 (131%)	438 (124%)	186 (82%)	686 (96%)	136 (97%)	45 (115%)
6月8日 (晩播)	千葉半立	3,035 (144%)	423 (118%)	62 (109%)	165 (117%)	15 (109%)	43 (162%)
	ナカテユタカ	2,651 (129%)	397 (115%)	92 (71%)	272 (65%)	28 (60%)	41 (110%)
	おおまさり	2,443 (156%)	359 (124%)	35 (97%)	117 (99%)	12 (93%)	61 (116%)
	千葉P114号	2,112 (125%)	341 (109%)	90 (64%)	304 (72%)	6 (65%)	43 (112%)

\* 落花生研究室の栽植密度は、「千葉半立」、「ナカテユタカ」、「千葉P114号」は5,128株/10a、「おおまさり」は2,564株/10a。カッコ内は、平成28、29年の平均値対比を示す。

## 2 これからの管理のポイント

### (1) 病虫害防除について

今後、特に白絹病、茎腐病の注意が必要です。ほ場をよく観察し、早期発見・早期防除に努めましょう。

白絹病が発生している場合は、被害株を表土と一緒にほ場から持ち出し、病気の拡大を防ぐとともに、次年度の病害予防のためにはほ場の菌密度を減らしましょう。

薬剤の使用に当たっては、収穫前使用日数に注意しましょう。(フロンサイド粉剤は収穫 45 日前の使用。例えば、10月10日に収穫する場合は、8月26日までに使用。)

薬剤散布は、農薬のラベルに記載された使用基準に従って行ってください。

表3 防除薬剤

病害名	適用薬剤名	希釈倍数等	使用時期／回数
褐斑病	トップジンM水和剤 ダコニール 1000	1,500～2,000 倍 500 倍	収穫 7 日前まで／4 回 収穫 14 日前まで／4 回
白絹病	フロンサイド粉剤	10a 当たり 20 kg	<u>収穫 45 日前まで</u> ／1 回
茎腐病	トップジンM水和剤	1,500 倍	収穫 7 日前まで／4 回
黒渋病	トップジンM水和剤	1,500～2,000 倍	収穫 7 日前まで／4 回



褐斑病



白絹病



茎腐病



黒渋病

## (2) 「試し掘り」で適期収穫

落花生の掘取時期の目安は、下表のとおりです。

収穫時期が近づいたら、必ず試し掘りをして、収穫適期を逃さないように気をつけましょう。砂地の地域では収穫時期が早まるので、早めに試し掘りをしましょう。

「千葉 P114 号」は掘り遅れると食味が低下し、落ち実が発生しやすくなるので、特に注意が必要です。

表4 開花期からの掘取時期の目安

	千葉半立	ナカテユタカ	おおまさり	千葉 P114 号
開花期からの掘取時期の目安	95日後	80日後	85日後 (ゆで莢用)	80日後

表5 落花生研究室（八街市・マルチ栽培）での収穫期目安

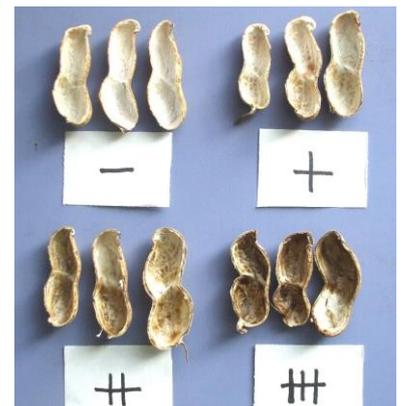
	は種日	開花期	収穫期目安
千葉半立	5月18日	6月30日	10月3日
	6月8日	7月11日	10月14日
ナカテユタカ	5月18日	6月28日	9月16日
	6月8日	7月11日	9月29日
おおまさり	5月18日	6月27日	9月20日
	6月8日	7月11日	10月4日
千葉 P114 号	5月18日	6月28日	9月16日
	6月8日	7月12日	9月30日

### 千葉 P114 号の収穫適期判断法

「千葉 P114 号」は、さやの裏の色で収穫適期が判断できます。

<方法>

- ①ほ場の中で生育が中庸な4株を掘り、それぞれの株もとのさやを5つとり、さやの裏の色を見ます。
- ②合計20個のさやのうち、その半数以上の色が淡褐色(写真+)以上になり、黒褐色(写真+++ )のさやがひとつでも見られたときが掘取りの適期です。
- ③開花期から予想される適期の7日前から、2、3日おきに試し掘りをして判定します。



「千葉 P114 号」の開花期後日数による収量や子実外観の変化

	開花期後日数 (日)					
	70	75	80	85	90	95
収量	低	並	高	高	高	高
子実外観	未熟粒が多い	良	良	過熟による低下	過熟による低下	過熟による低下

適期

## (3) 台風対策

今年は例年よりも多く台風が発生しています。栽培期間中に台風が接近した場合は、以下の対策をしましょう。

ア 栽培中及び乾燥中ともに冠水しないように排水路を整備する。

イ 台風後に黒渋病が発生しやすいので、よく観察し、必要に応じて表3を参考に殺菌剤を散布する。